

嘉渡川水系河川整備基本方針

平成 26 年 12 月

鹿 児 島 県

嘉渡川水系河川整備基本方針

目次

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 河川及び流域の概要	1
(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	3
1) 洪水，津波，高潮等による災害の発生の防止 または軽減に関する事項	3
2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項 並びに河川環境の整備と保全に関する事項	3
3) 河川の維持管理に関する事項	4
2. 河川の整備の基本となるべき事項	4
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項	4
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	4
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する 事項	5
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に 関する事項	5

(参考図)

嘉渡川水系概要図

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 河川及び流域の概要

嘉渡川^{かどがわ}は、沖縄県と鹿児島県本土のほぼ中間の洋上に浮かぶ奄美大島^{あまみ おおしま}の北部に位置し、その源を龍郷町^{たつごうちょう}の長雲峠^{ながくもとうげ}に発し、東シナ海^{ひがし かい}に注ぐ、流域面積 4.9km²、幹川流路延長 2.0km の二級河川である。

嘉渡川流域付近の気温は年平均 21.8℃で、冬季の 1、2 月でも月平均 14℃以上である。年平均降雨量は概ね 2,800 mm 程度であり、全国平均の約 1.7 倍となっている。

流域の地質は、古生代から中生代の大勝層の砂岩、頁岩、砂岩頁岩互層などの堆積岩が基盤岩となっている。新生代の粘土、砂、礫層は低地区の川沿いにわずかに見られる。

流域の地形は、標高 300m 程度の中起伏山地や小起伏山地が連なり平坦部は少なく、谷底平野となっている低地部は主に農地に利用されている。流域の土地利用状況は、全体の 90% が山地で占められており、耕地は 8%、宅地は 2% を占める。山林には、亜熱帯常緑広葉樹であるギョクシンカースダジイ群集が広く分布し、リュウキュウマツ群落もみられる。

嘉渡川の流れる龍郷町嘉渡集落は、「良い（嘉）港で、大海に通じる（渡）」が集落名の由来と言われ、大昔からさまざまな船が出入りする活気に満ちた集落だったと言われており、現在も漁業が主要産業の一つとなっている。また、嘉渡地区は大島紬^{おおしまつむぎ}の図柄で最も有名な「龍郷柄」^{たつごうがら}発祥の地であり、古くから大島紬の生産が盛んで、近隣には伝統文化を継承する同町立大島紬織工養成所があり、大島紬は基幹産業の一つとなっている。

嘉渡川の治水・利水・自然環境および河川利用状況の概要は以下に示すとおりである。

① 治水の概要

奄美大島は台風の常襲地帯であり、過去幾度となく大きな災害が発生している。嘉渡川は、平成 20 年 11 月 6 日の時間雨量 128mm の集中豪雨により河川が氾濫し、床上浸水 25 戸、床下浸水 6 戸に及ぶ甚大な被害を受け、平成 23 年度から総合流域防災事業として河川改修を実施している。

② 利水の概要

嘉渡川の水利用は、古くから行われており、周辺のかんがい用水として利用され

ている。なお、嘉渡川流域においては、近年渇水被害は生じておらず取水に支障を生じたことはない。

③ 自然環境および河川利用状況

奄美大島は、独特の地史を有し、極めて多様で固有性の高い亜熱帯性生態系を有し、多数の希少種の生息・生育地となっている。

山間地を貫流する上流部は、ウラジロエノキ等で構成される山付部の樹林地と河川の連続性が確保され、リュウキュウウマノスズクサやタイワントリアシが見られる。河道内には瀬・淵が形成され、瀬にはルリボウズハゼ、ヨロイボウズハゼ、カエルハゼ、淵にはオオウナギ等の魚類、ヤマトヌマエビ等の甲殻類、アマミイシカワガエル、オットンガエル等の両生類が生息している。また、国の特別天然記念物のアマミノクロウサギやケナガネズミ等の哺乳類、絶滅が危惧されるオオトラツグミ、ルリカケス、アマミコゲラ等の鳥類など、多種多様な動植物種の生息地となっている。

農地を貫流する中流部では、河道内の砂州上にはヨシ群落、シロノセンダングサ群落が形成され、山付き部には奄美諸島にのみ分布するオオシマウツギが見られる。

また、樹林と河川の連続性が保たれた山付き部を中心に、ルリボウズハゼ、ヨロイボウズハゼ、サカモトサワガニ、モクズガニ等の魚介類やエグリタマミズムシやイワカワシジミなどの昆虫類も生息する。下流部は、右岸側に嘉渡集落が広がり、嘉渡橋より下流は感潮域となっている。河道はほぼ直線であり、オオウナギ、ドングリカノコガイ等の魚介類が生息している。

また、河口部には干潟が形成され、オカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリ等が多数生息し、これらを餌とするサギ類、シギ類の採餌場となっており、良好な干潟環境を形成している。

河川管理用通路が生活道路として兼用されており、また、地域住民による美化活動が行われている。

水質に関しては、嘉渡川は環境基準の類型指定はされていないが、BOD値はA A類型（BOD1.0mg/L以下）相当であり、良好な水質が確保されていると考えられる。

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

嘉渡川水系では、平成20年11月の洪水氾濫等による甚大な被害があったことから貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせるよう河川等の整備を図る。また、ルリボウズハゼやオットンガエル等の希少な種が生息・生育・繁殖している自然豊かな河川環境や河口部の干潟環境を保全・継承するとともに、流域の歴史、文化を踏まえ、魅力ある川づくりを目指すため、関係機関や地域住民との連携を強化し、河川の多様性を意識しつつ治水・利水・環境に関わる施策を総合的に展開する。

このような考え方のもと、河川整備等の現状や河川環境の保全等を考慮し、また、関連地域の社会・経済情勢の発展に即応できるよう、河口から一貫した計画に基づき、河川の総合的な保全と利用を図る。

1) 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止または軽減に関する事項

洪水、津波、高潮等による災害の発生防止または軽減に関しては、流域内の資産状況・土地利用状況の動向を勘案し、嘉渡川においては年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

あわせて、整備途上における施設能力以上の洪水や計画規模を超過した洪水に対しても被害を最小限に止めるため、河川情報システムを十分活用した防災情報の提供等のソフト対策の充実に努める。

2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに河川環境の整備と保全に関する事項

河川水の利用及び流水の正常な機能の保全に関しては、嘉渡川水系においては、これまで大規模な渇水は生じていないが、農業用水などに利用されていることから、今後は河川流量等の把握に努める。

河川環境の整備と保全に関しては、治水・利水面との調和を図り、在来動植物の生息・生育・繁殖環境の保全、外来生物の早期発見・防除など流域の生態系の保全・管理に努める。また、人々に潤いを与える良好な河川景観を保全するなど、地域住民が河川に興味を持ち河川に親しみを感じるような川づくりを進めるとともに、地域と一体となった河川環境整備のための協力体制の構築に努める。

水質については、河川の利用状況、沿川地域の水利用状況、現状の環境を考慮し、関連機関や地域住民との連携を図りながら、水質の保全に努める。

3) 河川の維持管理に関する事項

河川の維持管理に関しては、洪水等による災害発生の防止または軽減、水利用及び流水の正常な機能の保全、河川環境の整備と保全の観点から、地域特性を踏まえ適切に行っていくものとする。

また、堤防・樋門等の河川管理施設の機能を確保するため、巡視点検、維持補修などを適切に行う。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量については、河川の規模、流域内の資産・人口などを踏まえ、県内河川とのバランスを考慮して、年超過確率 1/30 の規模の洪水を検討した結果、基準地点^{れんたい}の連帯橋において 100m³/s とする。

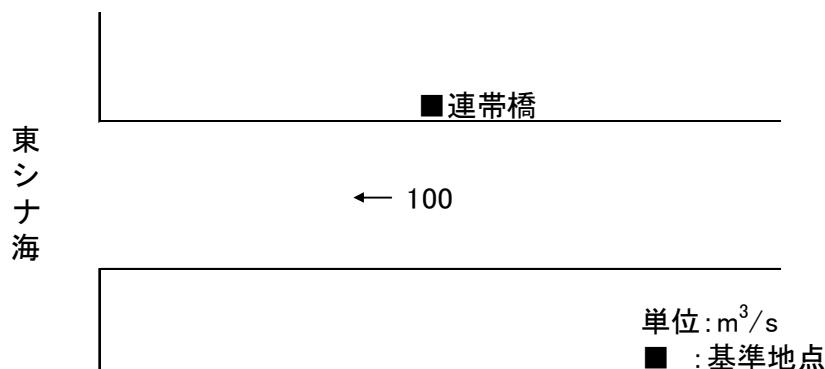
基本高水のピーク流量等一覧表

(単位:m³/s)

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設等による調節流量	河道への配分流量
嘉渡川	連帯橋	100	0	100

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

嘉渡川における計画高水流量は、連帯橋地点において 100m³/s とする。



嘉渡川計画高水流量図

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次表のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離 (k m)	計画高水位 (T. P. m)	川幅 (m)	摘要
嘉渡川	連帯橋	0.71	5.66	16	基準地点

(注) T. P : 東京湾中等潮位

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

嘉渡川における既得水利としては、農業用水としての慣行水利がある。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量については、流況を把握するとともに、河川の適正な利用や、動植物の保護及び流水の清潔の保持等に必要な流量について、今後調査検討を行うものとする。

(参考図) 嘉渡川水系概要図

位置図

